

令和4年度入試（令和3年度実施）の情報開示  
解答例について

入試の区分	第3年次編入学試験
学部学科等	医学部 看護学科
科目名	専門科目
正解・解答例 又は出題 (面接)意図	<p>1枚目</p> <p>問1【解答例】</p> <p>「認定看護師」：特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる看護師。認定看護師の役割として「実践」「指導」「相談」がある。</p> <p>「専門看護師」：複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための特定の専門分野の知識・技術を深めた者。実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究の役割がある。</p> <p>「認定看護管理者」：多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、看護の水準の維持及び向上に寄与する者。</p> <p>「特定行為」：医師が行う診療補助のうち、一定の行為を特定行為と規定し、あらかじめ作成された手順書に沿って看護師が実践できる制度。</p> <p>「アドバンスト助産師」</p> <p>「NP（ナースプラクティショナー）」等も可。</p> <p>問2【解答例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別なケア提供、ケアの継続</li> <li>・医療チームメンバー間のコミュニケーション手段</li> <li>・看護ケアの質の評価（の資料）</li> <li>・専門職業人としての看護師の能力の育成</li> <li>・教育および研究の資料</li> <li>・法的な保護（患者、医療従事者）</li> <li>・施設基準の証明</li> </ul> <p style="text-align: right;">の中から4つ</p>

## 2枚目

問1 (1) 出血, 気胸, 感染, 呼吸不全, 不整脈, 気管支攣縮, 肺炎, 胸膜炎 等

(2) 3

(3)  $30 \times 56 = 1680$

(4) 副作用: 悪心, 嘔吐, 食欲不振, 全身倦怠感, 便秘

看護: 【解答例】

- ・ 予防的な制吐剤の投与
- ・ 口腔ケアの励行
- ・ 食事の際は刺激となる強いにおいの回避
- ・ 嘔吐があった場合は, 吐物を速やかに処理すると共に, 部屋の換気を行う
- ・ 氷水での含嗽を勧める
- ・ 食事の温度や同室者の食事時間の過ごし方などを調整する 等

## 3枚目

問1 (1) 【解答例】 Bさんに外来の処置室で横になってもらう。

(2) 【解答例】 Bさんに香りが本人および同室の患者の治療に及ぼす影響を説明する。

(3) 【解答例】 文化的制限に配慮した食事の提供が可能か栄養管理部に相談するよう話す。

(4) 【解答例】 Bさんと家族が納得できる解決策を話し合う。

## 4枚目

問1 以下の文言と同様の意味を示す内容であれば正答とする。

なお, 症状については, 身体症状と精神・神経症状についての記述を求める。

【解答例】

原因: 不活発な日常生活や過度の安静などによって, 身体や精神に諸症状が生じる。

症状: 局所症状; 関節拘縮, 筋萎縮, 骨萎縮, 褥瘡など

全身症状; 起立性低血圧, 心肺機能の低下など

精神・神経症状; 認知機能の低下, うつ傾向など

予防: 早期離床, ポジショニング (長時間の同一姿勢を回避), リハビリテーション, 心身の活性化など

問2 正答と判断する根拠は, 以下の通りである。

「身体拘束ゼロへの手引き」(2001年3月: 厚生労働省「身体拘束ゼロ作戦推進会議」発行) に記載されている「身体拘束の具体例」11項目の中から, 4種類を列挙することを求める。4種類については, 11項目から4つ, もしくは, 使用する道具や対処方法による4種類の状況や, 高齢者の

状況による4種類をまとめて記載する場合も正答とする。

身体拘束を行わない看護の工夫については、4種類の身体拘束の内容に対応しており、内容が妥当であれば正答とする。

**【解答例】**

4つの具体的な行為

- a. 転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。
- b. 点滴や経管栄養等のチューブを抜かないように、又は皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。
- c. 脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。
- d. 行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。など

上記の具体的な行為に対する工夫例

- a. に対する工夫：頻回に巡回することにより、排泄や立ち上がり動作などのニーズを把握し、事前に対応する。低床ベッドの利用や床に畳を敷くなどにより落下による損傷のリスクを軽減する。など
- b. に対する工夫：点滴や経管栄養が本当に必要か検討する。チューブが目に入らないように固定する。見守ることができる状態で使用する。皮膚を清潔に保ち、保湿をしてかゆみを予防する。皮膚の搔痒感に対する処置を行う。など
- c. に対する工夫：おむつが必要か検討する。衣服やおむつが不快な理由を考え、形、大きさ、肌触り、汚れなど、原因となるものを取り除く。おむつ交換は、定時に行うのではなく、排泄パターンに合わせて行う。など
- d. に対する工夫：精神面の不安や対人関係の問題など、不穏や不安定になる理由を考え、落ち着けるように環境を整える。身体の不調は早期に発見し対応する。など

**問3 【解答例】**

原因：便が出きらない状態が長期間続くこと、長期間の下剤の服用など

状態：直腸に貯留した大きな固い便塊が、腸内から排出困難となる状態である。便秘と判断し下剤を服用すると、下痢や便失禁になり、さらに下痢止めを服用するという悪循環が起こる。

対処方法：直腸診などで評価し、浣腸や摘便で固い便塊を排出する。

**問4 【解答例】**

共通して希望することの例：

苦痛がない、望んだ場所で過ごす、希望や楽しみがある、医療従事者を信頼できる、負担にならない、家族や友人とよい関係でいる、自立している、落ち着いた環境で過ごす、人として大切にされる、人生をまっとうしたと感じる、など

希望に個人差があることの例：

できるだけ治療を受ける，自然なかたちで過ごす，伝えたいことを伝えておける，先々のことを自分で決められる，病気や死を意識しない，他人に弱った姿を見せない，生きる価値を感じられる，信仰に支えられている，など

その人らしい最期を迎えるために必要な支援：

いたずらに死を恐れるのではなく，よく生きた先に，よりよい死があるという連続性をもった考えができるように，個人の価値観や信念に基づく支援をする。など

受験生の考えの根拠と支援の方向性が，わかるように記述されていれば正答とする。

#### 5枚目

- 問1 (1) a. 低出生体重  
b. 極低出生体重  
c. 超低出生体重

#### (2) 【解答例】

ディベロップメンタルケアは，早産児などハイリスク新生児の神経行動学的発達が高いレベルに進むのを助けることを目的とする。光刺激や音刺激などのストレスから新生児を保護するために，室内の照度を落としたり，騒音レベルを下げるなどの環境調整を行う他，深睡眠時のケアを避けて，新生児のストレス反応を確認しながらケアを行うなど，安静時間を確保しながら個々に応じたケアパターンの調整を行ったり，ポジショニングやホールディング，カンガルーケアなど，新生児にとって快適な感覚刺激の提供を行う。

#### 6枚目

問1 (1) 【解答例】 児娩出直後から胎盤娩出までの時期

(2) 【解答例】 児娩出後の子宮収縮が良好であるかを確認し，出血量が正常であるかを確認する。胎盤剥離徴候があるかを確認する。胎盤の娩出様式を確認し，胎盤ならびに卵膜の子宮内の遺残が無いかを確認する。

産婦の全身状態に異常が無いかをバイタルサインにて確認し，ショックインデックスを算出する。

	<p>(3) 【解答例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一啼泣の有無とアプガールスコアの観察</li> <li>・先天性奇形の有無</li> <li>・体温の確認</li> <li>・胎外循環への移行について主に心雑音の有無から確認</li> </ul> <p>7枚目</p> <p>問1 (1) 幻視, 幻味, 幻嗅 (または幻臭), 幻聴 ※順不同</p> <p>(2) 機能的 (または機能的な)</p> <p>(3) 単一, 同一</p> <p>(4) 精神的 (または精神), 身体的 (または身体), 離脱 (またはアルコール離脱)</p>
<p>備 考</p>	